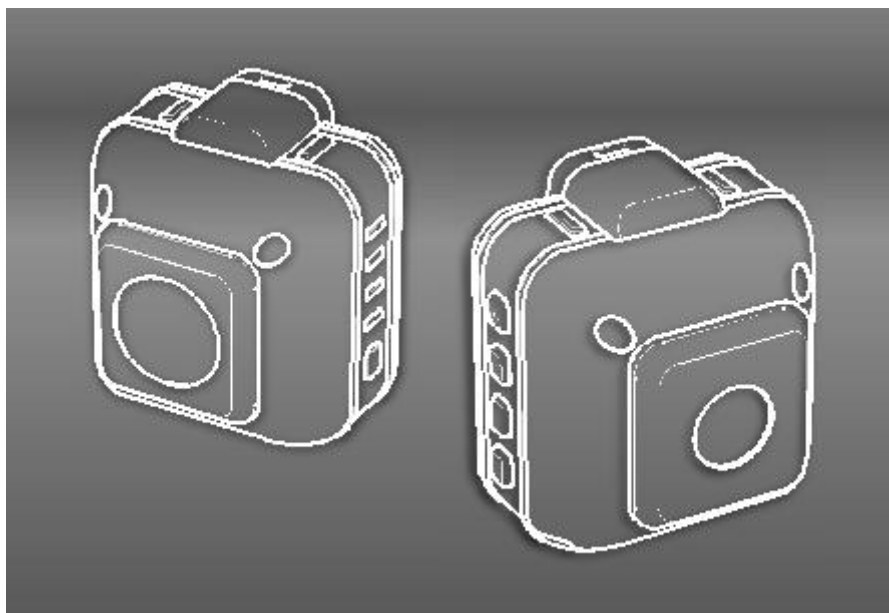


スタートアップガイド

QBiC S X1 / D1



目次

スタートアップガイド.....	1
ご使用の前に.....	3
準備する.....	6
バッテリーパックの取り付け／充電.....	6
microSD カードと WiFi カードをセットする	7
屋外でご使用になる際の注意点	8
警戒動作をはじめる	10
電源を入れる	10
バッテリー駆動時の LED 点灯	10
バッテリー駆動時のアラーム鳴動	11
電源を切る.....	11
メンテナンスモードの確認.....	11
警戒をはじめる（警戒モードに移行する）	12
警戒をやめる（メンテナンスモードに移行する）	13
メンテナンスツールを使う	14
QBiC S メンテナンスツールでできること	14
お使いの PC の推奨環境を確認する	14
QBiC S メンテナンスツールの入手とインストール.....	14
QBiC S メンテナンスツールのアンインストール	15
本機と PC を USB ケーブルでつなぐ	16
WiFi に接続する	17
アクセスポイントの登録	17
マストレージモードを利用する.....	18
マストレージモードの起動方法	18
アップデートについて.....	19
安全にご使用いただくためにー必ずお守りください	21
使用上のご注意	27
備考.....	31

ご使用の前に

このたびは QBiCSX1/D1 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本ガイドは本機を正しく使用するために必要な設定・使い方を説明しています。
ご使用前に必ず本ガイドおよび「安全上のご注意」をお読みください。
本ガイドに記載されていない設定やご使用方法については、
「QBiCS ユーザーズ・マニュアル」をご参照ください。
本紙はいつでも使用できるように大切に保管してください。

《QBiC S ユーザーズ・マニュアル》
「QBiC S ユーザーズ・マニュアル」は
QBiC オフィシャルウェブサイト上でご覧ください。
QBiC オフィシャルウェブサイト：
<http://www.elmoqbic.com/>

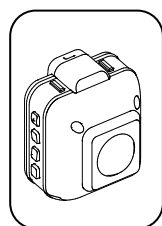
箱の中身を確認する

□本機 (QBiC S X1/D1)

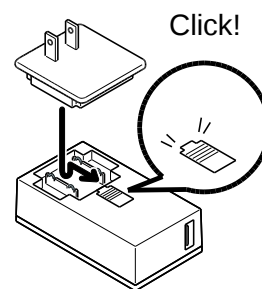
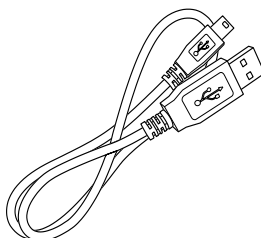
□ USB ケーブル

□AC アダプタ

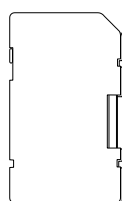
X1(135° レンズ仕様)



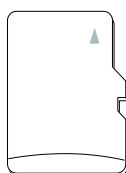
D1(185° レンズ仕様)



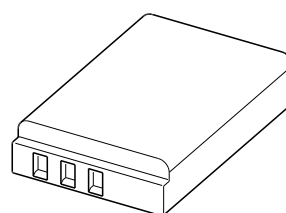
□WiFi カード



□microSD カード (2GB)



□バッテリーパック



□スタートアップガイド(本紙)



□保証書



□USB パッキンシール



お知らせ

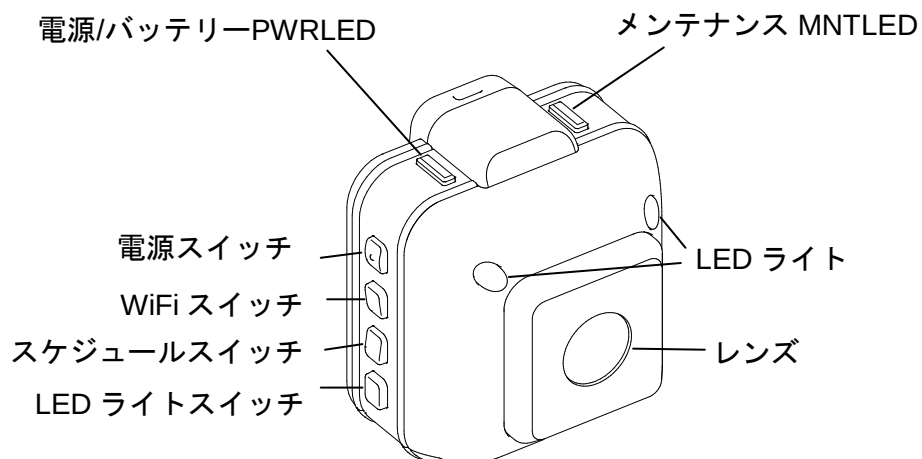
出荷に際し、品質や梱包などには万全を期しておりますが、万一破損や部品不足、その他お気づきの点がありましたら、直ちに弊社までご連絡くださいますようお願いいたします。



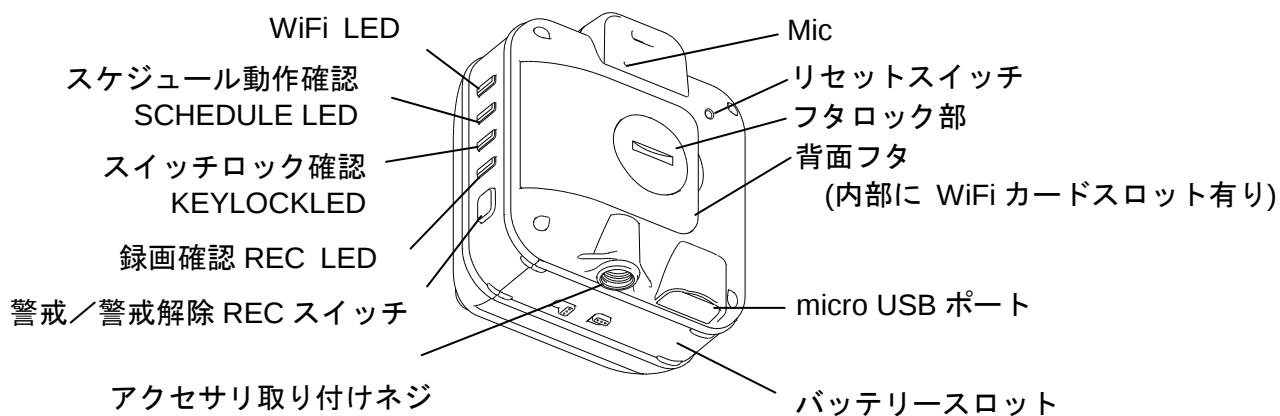
本書に記載の画面や図は実際のものとは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 各部の名称

QBiC S 前面



QBiC S 背面



QBiC S X1(135° レンズ仕様)と QBiC S D1(185° レンズ仕様) の
スイッチ、LED は同じ仕様です。

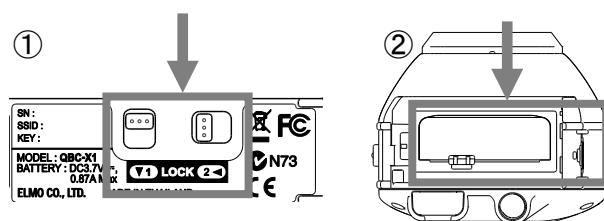
準備する

バッテリーパックの取り付け／充電

* お買い上げ時にバッテリーパックは挿入されておりません。

また、お買い上げ時はバッテリーが十分に充電されておりませんので、必ず充電してからお使いください。

1. 本機の底面に製品型式などが記載されたラベルが貼付されています。ラベルに記載された矢印の方向と反対に2つのツマミ①を動かし、スロットをスライドして開きます。バッテリーパックを挿入②し、スロットを逆方向にスライドして閉じます。ツマミを元の方向に戻してロックします。



2. 本機の電源を切ります。電源が入っていると充電できません。必ず切ってください。
3. 本機の micro USB ポートのフタを開け、付属品の USB ケーブルの USB コネクタ (小さい方のコネクタ) を挿入します。
4. USB ケーブルの USB コネクタを、付属品の AC アダプタの USB ポートに挿入し、AC アダプタをコンセントに接続すると充電を開始します。充電中は「電源/バッテリーLED」が赤色に点滅します。
5. 充電が完了すると「電源/バッテリーLED」が消灯します。

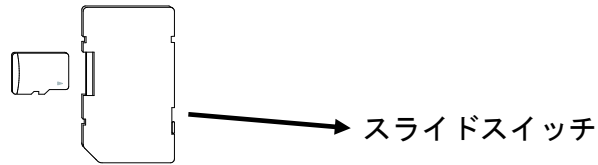


PC の USB ポートからの充電について

電源が入っている PC の USB ポートからも充電することができます。ただしその場合は、必ず本機の電源を切ってください。本機の電源が入っていると充電できません。また、AC アダプタで充電するよりも長い時間がかかります。

microSD カードと WiFi カードをセットする

1. 付属の microSD カードを WiFi カードに挿入します。



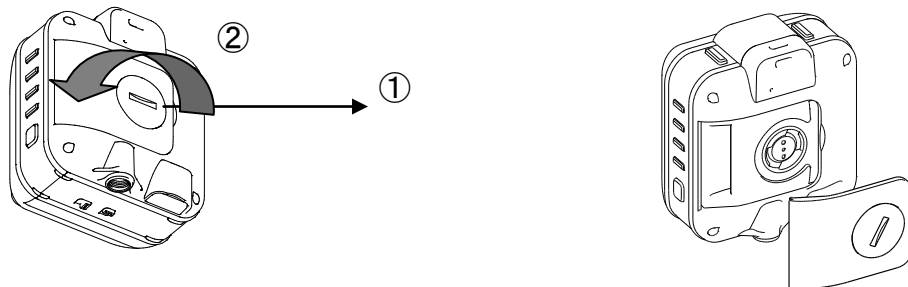
- * WiFi カードを書き込み禁止にすると記録できません。スライドスイッチが「▶LOCK」の反対方向にスライドされていることを確認してください。ロックされている場合はスライドさせて書き込み禁止を解除してください。



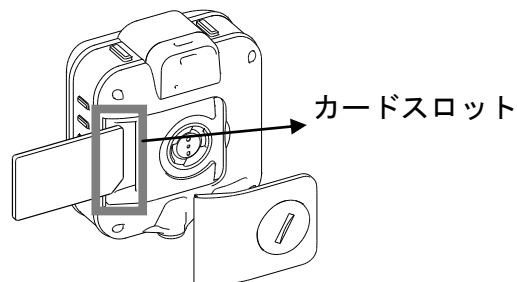
microSD カードを挿入する際、向きにご注意ください。また、microSD カードはカチッと音がするまで差し込んでください。正しく挿入されていない場合、本機が正しく起動しません。

2. コインなどの先端部分が平面のものを使用して、本機背面にあるフタのロックを外します。

①の部分にコインなどを差し込み、矢印の方向(②)に回しフタを外します。

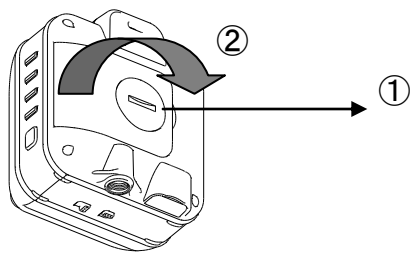


3. カードスロットに付属の WiFi カードを挿入します。



挿入する際、向きにご注意ください。また、カードはカチッと音がするまで挿入してください。正しく挿入されていない場合、エラーが発生するか、本機が故障する原因になります。

4. 背面のフタを戻して、ロックします。フタをはめ、コインなどを①の部分に差し込み、矢印の方向(②)に回します。



フタは必ず正しくはめ、①の部分をかたく閉めてください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります

屋外でご使用になる際の注意点

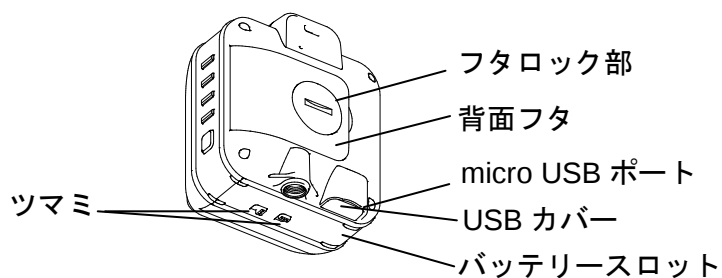
本機を屋外で使用する場合は市販の屋外ハウジングをご使用下さい。

本機は USB カバーが正しく取付けられた状態(USB ケーブル非使用時)では防水仕様ですが、USB カバーが取外された状態(USB ケーブル使用時)ではカメラ単体で防水を保証するものではありません。

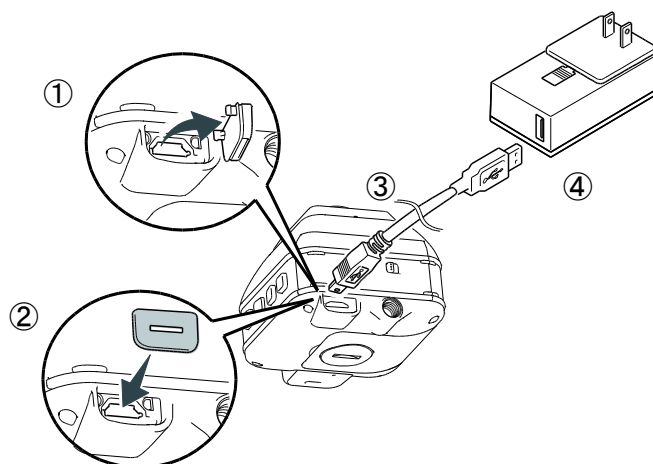
また、USB カバーが正しく取り付けられた状態でも、屋外での長期間に渡る使用では、防水を保証するものではありません。

以下の点を必ずお守りください。

1. 各部のフタ、スロット、ツマミがしっかりと閉まっているか確認してください。



2. AC アダプタを接続してご使用になる場合は、①USB カバーを取外し、②micro USB ポートに USB パッキンシールを取付けて、③USB ケーブル（USB パッキンシール付）を差込み、④USB ケーブルと AC アダプタを接続してご使用下さい。 屋外でご使用になる場合は市販の屋外ハウジングをご使用下さい。



付属の AC アダプタは防水ではありません。
また USB パッキンシールは防水性能を保証するものではありません。

3. 屋外では設置場所によってハウジング内部が高温または低温になる場合があります。必ず設置業者にご相談のうえ、冷却ファンやヒーターなど適切な装置の付いた屋外ハウジングをご使用願います。



すべての状態において無破壊、無故障、防水を保証するものではありません。

屋外でのお取扱いに関する詳しい情報は、QBiC S ユーザーズ・マニュアルをご確認ください。

QBiC S ユーザーズ・マニュアルは下記ウェブサイトよりダウンロードしてください。

QBiC オフィシャルウェブサイト: <http://www.elmoqbic.com/>

警戒動作をはじめる

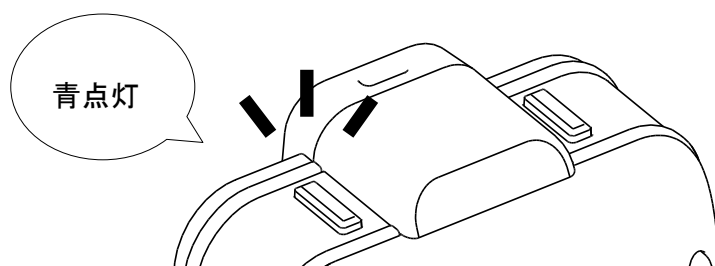
本機は24時間連続で内部の microSD カードに録画できる「警戒モード」と、各種録画に必要な設定や、microSD カード内に記録した警戒録画データを再生可能な「メンテナンスモード」の2種類のモードを備えています。

ここでは、各モードの動作や LED による各種表示について説明します。

電源を入れる/電源を切る

電源を入れる

「電源 POWER スイッチ」を1秒以上押すと電源が入り、電源/バッテリー PWRLED が青色に点灯します。



お知らせ

お買い上げ時は「メンテナンスモード」で起動します。

バッテリー駆動時の LED 点灯

本機は AC アダプタからの常時給電によって、24 時間の連続監視動作を行うことができます。

万が一、突然の停電などで給電が途絶えたとしても、内蔵のバッテリーパックを消費して最大で2時間の警戒録画を続行することが可能です。

このとき、「電源/バッテリーPWRLED」が赤点灯に変わり、現在本機が内蔵バッテリーで動作していることを示します。

もし、本機の「電源/バッテリーPWRLED」が赤点灯していた場合は、AC アダプタによる常時給電がされておらず、電源 OFF する可能性がありますので、速やかに電源の供給状態をご確認ください。

バッテリー駆動時のアラーム鳴動

本機はバッテリーの残量に応じて、充電の必要をお知らせするためのアラーム音を鳴動いたします。

アラーム音は、「警戒モード」で動作中、残り駆動時間が5分未満となった場合に「ピローツ」という音で鳴動を開始します。

アラーム音が鳴動を始めた場合は速やかに充電を開始してください。



バッテリーアラームは QBiC S メンテナンスツールを使い OFF 設定にすることができます。

電源を切る

「電源 POWER スイッチ」を2秒以上押すと、「電源/バッテリーPWRLED」が消灯し、本機の電源を OFF します。

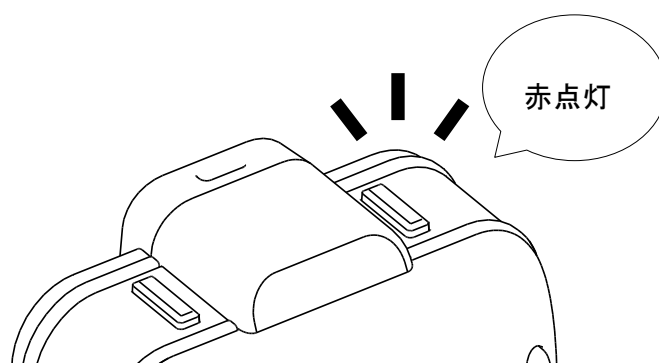
「警戒モード」中に、電源スイッチによって電源 OFF を行った場合は、自動的に「メンテナンスモード」に移行し、電源が OFF されます。

メンテナンスモードの確認

本機をお買い上げ時に電源を ON すると、「メンテナンスモード」で起動します。

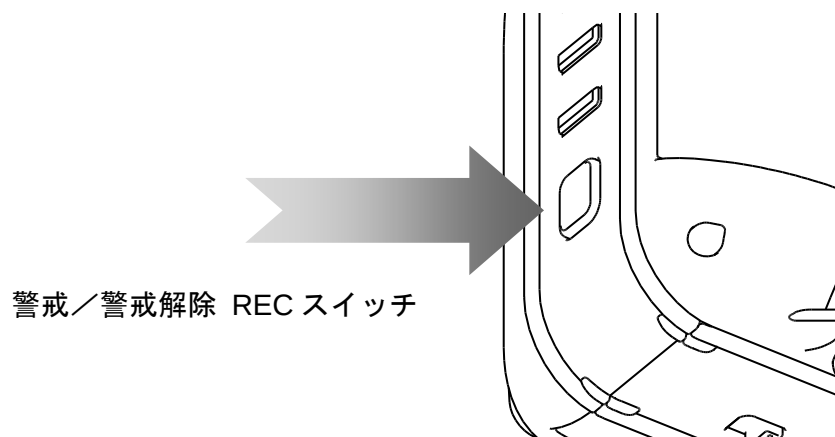
本機が「メンテナンスモード」の場合、「メンテナンス MNTLED」が赤点灯し、「メンテナンスモード」であることを確認できます。

また、「WiFi LED」は WiFi 設定に従って点灯します。



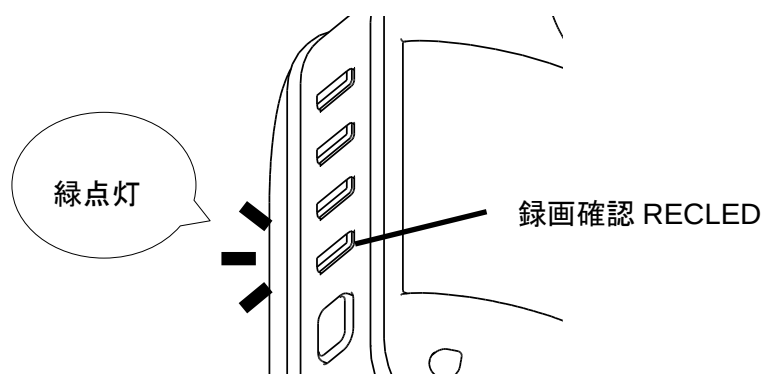
警戒をはじめる（警戒モードに移行する）

「メンテナンスモード」から、「警戒／警戒解除 REC スイッチ」を押下することで、「警戒モード」に移行することができます。「警戒モード」に移行すると、「メンテナンス MNTLED」、「WiFi LED」が消灯し、「録画確認 RECLED」が緑点灯します。



「録画確認 RECLED」は、本機が録画状態の場合に点灯します。「スケジュール設定」などで本機が録画状態では無い場合、「録画確認 RECLED」は点灯しません。

「警戒モード」中、「WiFi LED」は、WiFi 設定に関係なく消灯します。



「警戒モード」に移行して警戒を開始すると、内部の microSD カードに警戒中の録画データを自動的に保存します。

また、録画設定を適切に設定することによって、内部の microSD カードに保持する録画データの保存日数・時間を調整することができます。



お買い上げ時は、VGA／5fps／386Kbps に設定されており、32GB の SD カードをご使用の場合は約 7 日間分録画データを撮りためることができます。

警戒をやめる（メンテナンスモードに移行する）

「警戒モード」中に「警戒／警戒解除 REC スイッチ」を2秒以上押し続けることによって、「警戒モード」を中止し、「メンテナンスモード」に移行することができます。

「メンテナンスモード」では、「QBiC S メンテナンスツール」を用いることで、各種設定や録画データの再生を行うことができます。



メンテナンスモード中は録画を行いません。警戒監視を行う場合は、「メンテナンス LED」が消灯し、「警戒モード」に移行している事を十分にご確認ください。

メンテナンスツールを使う

QBiC S メンテナンスツールでできること

QBiC S メンテナンスツールを使い、付属の USB ケーブルで PC と本機を接続することによって、細かな設定が可能になり、より快適に本機をお使いいただけます。

メンテナンスツールを使えば以下のことができます。

- カメラ映像の LiveView 表示
- 「警戒モード」で録画した録画データの再生
- 曜日・時間を指定したスケジュール撮影
- 録画データの画質、フレームレートの設定
- いたずら防止用のスイッチロック設定
- 遠隔監視用の Wi-Fi 設定

お使いの PC の推奨環境を確認する

インストールできる PC の対応 OS バージョンは以下の通りです。

Windows

Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1



Microsoft Windows XP の場合、64bit 版は除きます。

QBiC S メンテナンスツールの入手とインストール

QBiC S メンテナンスツールは QBiC ウェブサイト(<http://www.elmoqbic.com>)からダウンロードしてください。

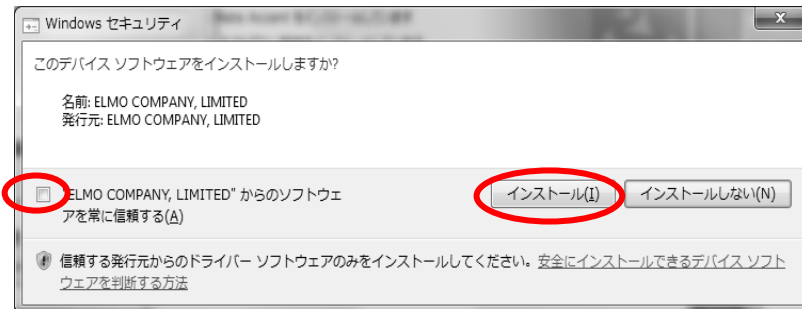
ダウンロード後は以下の手順に従って QBiC S メンテナンスツールをインストールしてください。

- ① お使いの PC に管理者権限でログインしていただき、ダウンロードした Setup.exe を実行します。

② 画面の指示に従ってインストールを行ってください。

お使いの環境によって、ハードウェアとの互換性やデジタル署名についての警告メッセージが表示される場合があります。

「“ELMO COMPANY, LIMITED” からのソフトウェアを常に信頼する」にチェックをつけ、「インストールボタン」を押します。



③ インストールが完了すると、「QBiC-S メンテナンスツール」のアイコンがデスクトップに表示されます。



ご使用の PC によっては、再起動を促す場合があります。

再起動を促すメッセージが表示された場合は、「はい」ボタンを押して PC を再起動させてください。

QBiC S メンテナンスツールのアンインストール

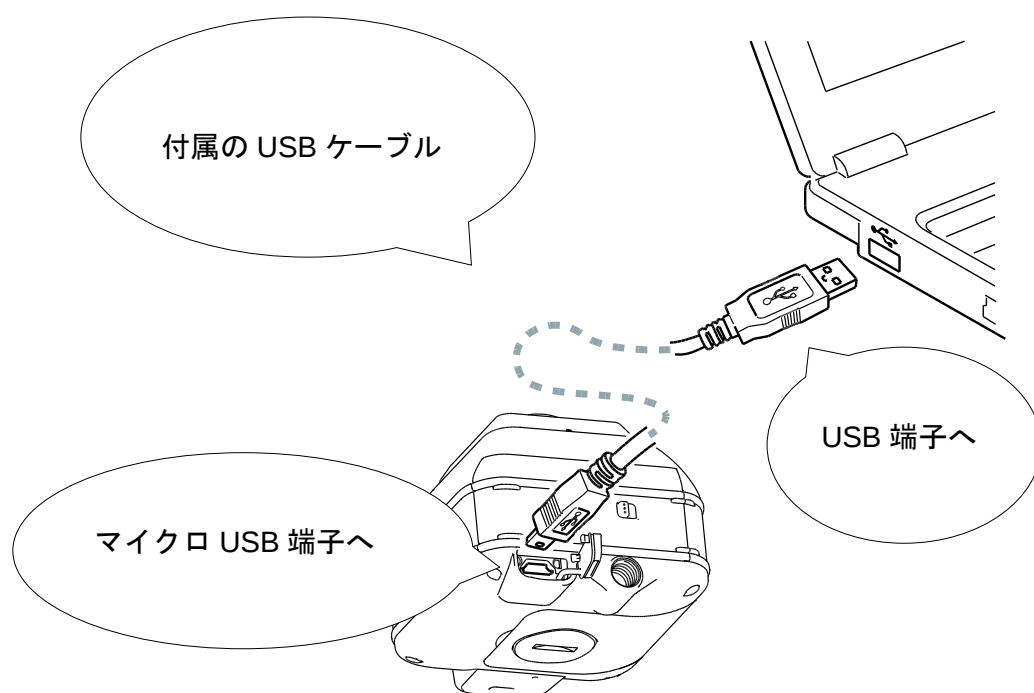
お使いの PC から QBiC S メンテナンスツールを削除するには、OS のアンインストール機能を使用してください。

本機と PC を USB ケーブルでつなぐ

① インストールした QBiC S メンテナンスツールを起動します。

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] ・ [すべてのプログラム] ・ [ELMO] ・ [QBiC S メンテナンスツール] の順にクリックします。
- インストール後はデスクトップに QBiC S メンテナンスツールのアイコンがあります。

② 付属の USB ケーブルで PC と本機を接続します。



③ 本機の電源を ON します。

QBiC S メンテナンスツールが本機を認識し使用できるようになります。

お知らせ

QBiC S メンテナンスツールの詳細な使い方は QBiC S メンテナンスツール・ユーザーズマニュアルをご参照ください。

WiFi に接続する

WiFi を使用すれば、ネットワークに接続して、本機の画像を他機器に表示することができます。お使いの無線 LAN ルーターまたは無線 LAN アクセスポイントによって、設定手順は異なります。



- 既にネットワークにつながれた PC が必要です。
- 必ずお使いの無線 LAN アクセスポイントエリア（受信できる場所）で設定してください。

アクセスポイントの登録

本機にアクセスポイントを登録するには「QBiC S メンテナンスツール」を使います。お使いの PC に「QBiC S メンテナンスツール」がインストールされていない場合は、「QBiC S メンテナンスツールの入手とインストール」をご参照のうえ、インストールしてください。

- ① QBiC S メンテナンスツールの [ネットワーク設定]・[インフラストラクチャー]タグを選択する。



- ② AP 検索設定を選び、QBiC S 周辺のアクセスポイントを表示し、アクセスポイントを選びます。



お知らせ

登録したいアクセスポイントが見つからない場合は、AP 手動設定を選び、目的の SSID を選択します。

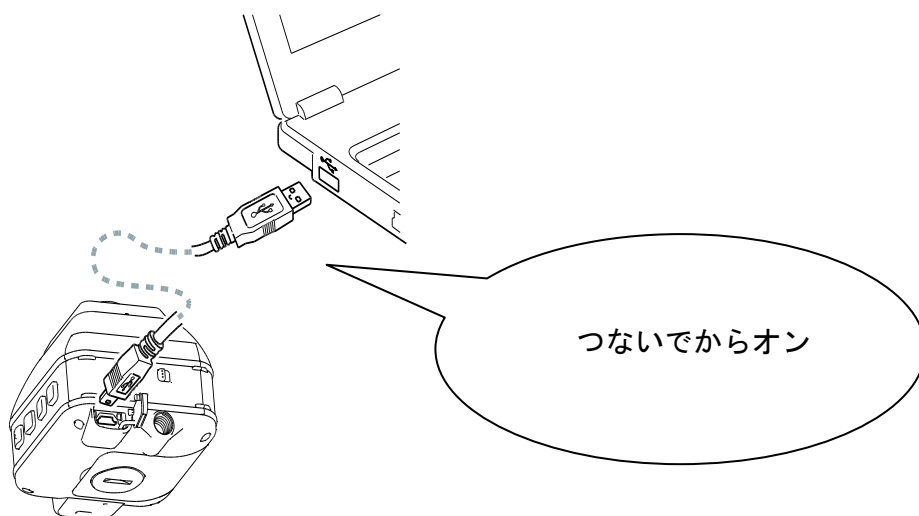
※設定画面は変更となる場合があります。ご了承ください。

マストレージモードを利用する

本機をストレージデバイスとして利用することができます。本機に挿入されている microSD カードのデータを PC から直接操作することが可能です。

マストレージモードの起動方法

1. 本機の micro USB カバーを開きます。
2. 本機の電源を切った状態で、PC と本機を付属の USB ケーブルで接続します。
(USB コネクタの向きにご注意ください。)
3. 本機の電源ボタンを 5 秒以上押し続けます。
4. 本機内部の microSD カードがリムーバブルディスクとして認識されます。ビープ音が 3 回鳴り、PC にメニュー画面が表示されます。
5. 実行したいメニューを選択して操作します。
6. 操作完了後、本機の電源をオフにした状態で、USB ケーブルを本体から抜き、本機底面にある micro USB カバーを取り付けます。



注意

micro USB カバーは必ず奥まで挿入してください。不十分な場合、防水性が損なわれ、本機が故障する原因となります。

アップデートについて

本機および QBiC アプリの操作性、性能の向上を目的としたアップデートを実施することがあります。 アップデートに関する詳しい情報は、QBiC S ユーザーズ・マニュアルをご確認ください。

QBiC S ユーザーズ・マニュアルは下記ウェブサイトよりダウンロードしてください。

QBiC オフィシャルウェブサイト: <http://www.elmoqbic.com/>

QBiC S X1/D1

安全上のご注意

ご使用になる前にこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

万一の際に備え、本書は大切に保存してください。

QBiCS ユーザーズ・マニュアルを下記よりダウンロードいただき、
正しく安全にお使い頂く為にこちらも併せてよくお読みください。

QBiC ウェブサイト:<http://www.elmoqbic.com/>



安全にご使用いただくために —必ずお守りください

この「安全上のご注意」は、本機を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。ご使用前に必ずお読みください。

次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

	名称: 危険 / 警告 / 注意 意味: 危険な行為や、警告・注意が必要な行為を示します。
	名称: 禁止 意味: 禁止(してはいけないこと)を示します。
	名称: 強制 意味: 強制(必ず実行、お守りいただくこと)を示します。
	名称: 接触禁止 意味: 接触禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。
	名称: 分解禁止 意味: 分解禁止(してはいけないこと)を示します。 感電などの人体への傷害が起こる恐れがあります。

危険

本機で使用するバッテリーは充電式リチウムイオン電池です。温度や湿度の影響を受けやすいのでご注意ください。

バッテリーは本機の専用品ですので他の機器には使用しないでください。



- 強い衝撃が加わり、変形したバッテリーは危険ですので絶対に使用しないでください。発煙、発火、感電、やけどの原因になります。
- バッテリーの充電は専用の器具を使い、必ず指定された方法で行ってください。
- 不要になったバッテリーは捨てないでご使用の地域で定められた方法でリサイクルまたは廃棄してください。

液漏れしたバッテリーは使わないでください。

また液が目に入ったときはきれいな水でよく洗い、ただちに医師に相談してください。バッテリーは次のような誤った使い方をしないでください。

液漏れ、発熱、発火、破裂などでけがまたは死亡、火災の原因になります。



- 金属物と一緒に携帯、保管する。
- 分解、加工、加熱および水中、火中に入れる。
- 高温になる場所に置く。
- 落としたり、強い衝撃を与えたりする。
- プラス(+)とマイナス(-)のまちがい。



本機を暖房機器等の熱を発するものに近づけないでください。また火の中に投げ入れたり加熱したりしないでください。

- バッテリーが発火、破裂し、けがまたは死亡、火災の原因となります。



可燃性、爆発性、引火性のガスなどがある場所で使用しないでください。

- 火災や爆発の原因になります。



付属のACアダプタを分解したり改造したりしないでください。

- 内部に手を触れると危険なうえ、火災・感電の原因になります。
- 直流電源器として使用しないでください。



付属のACアダプタを水につけたり、ぬらしたりしないでください。

また、風呂場、シャワー室等では使用しないでください。

- 火災・感電の原因になります。



ACアダプタの差し込み部は、「カチッ」という音がするまで確実に取り付けて使用して下さい。

- 不完全な接続のまま使用すると、差し込み部が外れたり、発熱したりして、火災・感電の原因になります。

	警告
	本機のネジを外したり、ケースをこじ開けたりしないでください。 ●内部には電圧の高い部分があり、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。 ●内部の点検・修理は、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでご依頼ください。
	本機や付属品などを乳幼児の手の届くところに置かないでください。 ●ケーブルは誤って首に巻きつけて、窒息に至る恐れがあります。 ●WiFiカードおよびmicroSDカードは誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。 ●本機を足に落としたり、踏みつけたり、下敷きにしたりしてけがをする恐れがあります。
	煙が出る、変なにおいや音などがするときは、すぐにACアダプタをコンセントから抜いて、本体の電源スイッチをOFFにするか、注意してバッテリーを取り外し、すべてのケーブルを抜き、周囲に可燃物がない状態にして、すこし離れた場所で、煙などが出なくなるまでお待ちください。 ●異常状態のまま使用すると、発火、発煙、感電、やけどの原因となります。 ●煙などが出なくなるのを確認してから、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまで修理をご依頼ください。お客様による修理は危険です。絶対におやめください。
	本機や付属のACアダプタを落としたり、ぶつけたりして過度な衝撃を加えないでください。本機の上に重たいものを乗せたりして、圧力をかけないでください。 ●発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。 ●本機に衝撃を加えたり、変形が生じたりしますと防水性の保証は致しかねます。
	本機や付属ACアダプタの内部に水や異物を入れたり、端子部(USBおよびカードスロット)に直接、配線やピンなどをはんだ付けしたり、異物を差し込んだりしないでください。端子部に規格外のプラグやコネクタなどを差し込んだりしないでください。各端子の接続は根本まで確実に差し込んでご使用ください。また、濡れた手で触らないでください。 ●発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。



警告

本機は防水ではありませんが、すべての状態で防水性を保証するものではありません。また付属ACアダプタは防水ではありません。雨天、降雪、海岸、水辺及び屋外でのご使用は十分にご注意ください。



ご使用中に本機や付属ACアダプタに異常が発生した場合はただちにACアダプタのコンセントを抜いて、本体の電源スイッチをOFFにするか、注意してバッテリーを取り外してください。その後、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでご連絡ください。

●火災・感電の原因となります。



万一、本機や付属ACアダプタの内部に水や異物などが入った場合は、ACアダプタをコンセントから抜いて、本体の電源をOFFにするか、注意してバッテリーを取り外し、すべてのケーブルを抜いてください。

●その後、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでご連絡ください。そのまま使用すると発煙、発火、感電、故障の原因となります。



雷が鳴り出したら本機、ACアダプタおよびケーブルが接続されている機器には触れないでください。

●感電の原因となります。



ストラップを持って、本機を振り回したりしないでください。

●人や物に当たり、けが、故障、物損の原因となります。



WiFi カードは本機の専用品ですので他の機器には使用しないでください。

●折り曲げたり、落したり、強い振動を与えないでください。



USB ケーブルは本機の専用品ですので他の機器には使用しないでください。

●発煙、発火、感電、やけどの原因となることがありますので、USB ケーブルの上に重いものを乗せたり、コネクタ部を傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。



付属のACアダプタは本機の専用品ですので他の機器には使用しないでください。また、付属品以外のACアダプタを本機の電源として使用しないでください。

●火災・感電の原因となります。



屋外でご使用になる場合は市販の屋外ハウジングをご使用下さい。

ハウジング内部を適切な環境に保てるよう、設置環境に配慮した適切な機材を選定して下さい。

●火災・感電の原因になります。



注意



飛行機や病院内などで使うときは、航空会社や病院などの管理・監督者の指示に従ってください。

- 本機が出す電磁波などにより、機材、計器に影響を及ぼす原因になることがあります。



長時間使用しないときや、お手入れのときは、装着品を取り外して、充電していない状態にしてください。(長時間使用しないときでも、半年に1回は充電してください。長時間充電をしないと充電できなくなることがあります。)

- 通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、発煙、発火、火災の原因になることがあります。



車内など高温になる場所、湿気やほこりの多い場所で長期間の使用や保管をしないでください。

- 火災・感電の原因となることがあります。
- 本体が変形して故障する場合があります。



油煙や湯気・水滴が当たるような場所に置かないでください。

- 火災・感電の原因となることがあります。
- 防水性が低下することがあります。



ケーブルを抜くときは、ケーブルを引っ張らないでください。必ずコネクタ部分を持って抜いてください。

また持ち運ぶときは、必ずケーブルを外してください。

- ケーブルが損傷すると、発煙、発火、感電、やけど、故障の原因となります。



本機からケーブル、ストラップや三脚など装着具を取り外すときは、本機に手をそえて行ってください。

- 本機がとび出して、落下すると故障やけがの原因になることがあります。



白色LEDライトを至近距離で直接見たり、光を人の目に近づけたりしないでください。

- 視力障害などの原因になることがあります。乳幼児を撮影するときは1m以上離れてください。
- 乗り物などの運転者にLEDライトを向けないでください。事故を誘発する原因になります。



本機のレンズを直接太陽に向けないでください。

- 発煙、発火、やけど、故障の原因となることがあります。



本機を長時間素手で持たないでください。とくに皮膚が過敏な方は、ご注意ください。本機との接触により、皮膚に炎症が発生した場合、すぐに医師にご相談ください。

- 本機は熱くなることがあります。長時間素手で持っていると、低温やけどの原因になります。
- まれに本機の樹脂や金属の材料、材質により、皮膚に炎症を起こす原因となることがあります。

使用上のご注意

■本機や付属ACアダプタのスペックを超える過度な条件下での使用やお客様の誤ったお取り扱いにより発生する本機の故障やその他の事象については、当社は一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。またこのような場合、保証期間内でも無償の修理サービスを受けることができません。

■USB端子から常時給電して使用する場合は端子部にUSBパッキンシールを付けてください。ただしUSBパッキンシールを付けた場合でも防水性能は保証されませんのでご注意ください。雨や雪が直接本機に降り注ぐ環境での防水性能はありません。

■屋外に設置する場合は、市販の屋外ハウジングをご使用下さい。設置業者をご相談のうえ、設置する環境に適したハウジングを選定してください。

■事前に必ずためし撮りをしてください。

大切な撮影には事前にためし撮りをして、正常に映像が記録されていることをご確認ください。本機以外の不具合により撮影できなかった場合、当社は一切の責任を負いかねます。

■使用上の環境条件は次のとおりです。

温度: 0℃～40℃

湿度: 10%～80%

■GPSについて

●GPSは衛星から電波を受信し位置を測定するシステムです。次のような場所では衛星からの電波を遮断または反射してしまい、位置が正しく検出できない恐れがあります。できるだけ上空の開いた場所でご使用ください。

- 屋内、地下、森や林の中、高い建物や建造物の近く、トンネル内
- 高圧電線の近く、磁石や金属、電気製品の近く
- GPS機能はご使用になる国や地域の規則に従ってください。

■WiFi(無線LAN)の電波について

●本機は2.4GHz帯の電波法令による適合証明を受けております(適合証明を受けた部品を使用しております。)ご購入の国以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。

●通信状況が悪い場合、設置場所を変更してください。遮蔽物が多い場所など、ご使用環境によっては、通信に悪影響を及ぼす場合があります。とくに次の条件下では通信ができません。

-本機が水中にある場合

-送受信(本機とモニター)の間に鉄筋や金属およびコンクリートがある場合

●次の条件下では本機を使用しないでください。

-ペースメーカー等の産業・科学・医療用機器の近く

-工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内(免許を要する無線局)の近く

-特定小電力無線局(免許を要しない無線局)の近く

●Bluetooth機器との電波障害について

Bluetooth機器と本機は同一周波数帯(2.4GHz)を使用しています。そのため、お互いを近くで使用すると電波障害が発生し、通信速度の低下や接続に障害が発生する可能性があります。

接続に問題がある場合は、Bluetooth機器か本機の電源を切って下さい。

■防水について

●本機は当社の定める基準において防水を保証しております。しかしながら、すべての条件において防水性能を保証するものではありません。

●お客様の誤った取り扱いが原因の故障は保障対象外となります。

●本機をぶつけたり、落としたりなどの衝撃を加えた場合、防水性能は保障いたしません。修理(有料)についてはご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

●本機の内部およびカードやバッテリー、および付属ACアダプタは防水ではありません。濡れた手で取り扱わないでください。

■本機のフロント部には透明ドーム部がありますが、傷がつきやすいので、取り扱いにはご注意ください。透明ドーム部に傷がつきますと、位置や大きさによっては、クリアな映像が撮影できない場合があります。交換(有料)については、ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでお問い合わせください。

■次のような場所には保管しないでください。

●屋外、湿気やほこりの多い場所

●直射日光のあたる場所(自動車内や窓辺)、高温となる場所

●氷点下となる場所(寒冷地で暖房のない場所)

●冷暖房器具の近くなど極端に温度、湿度が変化する場所

●自動車や乗り物内など振動の多い場所

- 磁石または磁場の近く
- 薬品などの有機溶剤を使用する場所

■寒冷地での使用について

- 低温下で本機の金属部品に直接触れると皮膚に傷害が発生する恐れがありますので、低温下では手袋をはめてご使用ください。

■結露について

- 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部、とくにレンズの内側表面に空気中の水蒸気が凝結して水滴が付いたり、表面にくもりが発生したりすることです。
- 結露した状態で使用すると故障の原因となります。もし本機が結露した場合、電源をOFFにして、外側を柔らかい乾いた布で拭いてから湿気やほこりが少なく温度が安定(10～30℃が望ましい)した場所に放置し、完全に結露がなくなってからご使用ください。とくにレンズの内側表面に付いた結露が残っていると、クリアな映像になりません。

■内蔵マイクについて

- 本機の操作音を拾うことがありますが、故障ではありません。

■撮影について

- 解像度、動画記録品質等の条件により、録画時間の長さは異なります。
- 本機を撮影禁止場所で使用しないでください。退去を命じられたり、法律により罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受ける原因となります。
- 本機を迷惑禁止条例等の法律に違反することに使用しないでください。法律により罰則を受けたり、警察等による拘束、本機の没収を受けたりする原因となります。

■お手入れについて

- シンナーやベンジン等の強溶剤で本機を清掃しないでください。故障の原因となります。
- 本機の清掃は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- 汚れがひどいときは、端子部(USBおよびカードスロット)のカバーの装着を確認し、真水で軽く洗い、乾いた柔らかい布で拭いてください。

■画面上の輝点、黒点について

- 本機は、多くの画素により構成されたCMOSエリアイメージセンサを使用しており、なかには正常動作しない画素が存在する場合があります。出力画面上に輝点、黒点が

見られることがありますが、CMOSエリアイメージセンサ特有の現象であり、故障ではありません。

■記録ファイルについて

- 本機は精密な電子部品で構成されており、動作中にWiFiカードおよびmicroSDカードを抜いたり、電源をOFFにしたり、通信中に付属のUSB ケーブルが外れた場合、microSDカード内のファイルが破壊されたり、消滅したりすることがあります。
- 記録したファイルの破壊、消滅による損害については、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■WiFiカードおよびmicroSDカードについて

- 付属品以外のmicroSDカードはご使用になれる前に本機でフォーマットしてください。またフォーマットは本機以外では行わないでください。カードの種類やメーカーにより使用できない場合があります。
- microSDカードにアクセス(録画)中は、WiFiカードを抜いたりしないでください。誤動作、故障の原因になります。
- 使用後や保管、持ち運び時はケースや収納袋に入れてください。

■バッテリーの性能、寿命について

- 本機に内蔵されているバッテリーは、リチウムイオン二次電池です。
- バッテリーには寿命があり、温度、使用回数、使用時間、時間の経過につれて、バッテリーの容量は少しずつ低下します。
- 常温(10～30℃)で使える時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいバッテリーに交換が必要です。
ご購入先またはエルモ社カスタマーサービスまでバッテリーの交換(有料)をご依頼ください。
- 低温時や高温時には充電できない場合があります。
10～30℃の場所にしばらくおいてから、充電してください。
低温環境から暖かい場所へ移動する際は、結露にご注意ください。
- 記録日時等は、本機のバッテリーが切れるとリセットされます。

■本機を廃棄するときのお願い

- バッテリーのリサイクルにご協力をお願いします。
ご使用の地域により製品を廃棄する際は、本機に内蔵されているリチウムイオン電池(バッテリー)を外して、リサイクルすることが可能です。その際はご使用の地域で定められた法令に従いリサイクルしてください。

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人 J R B C ホームページ (<http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>) をご参照ください。

■microSDカードを廃棄および譲渡するときのお願い

- 本機およびPCの機能による「フォーマット」や「消去」ではmicroSDカード内のデータは完全に消去されません。

物理的に破壊するか、市販のPC用データ消去ソフトを使用してのデータ消去をおすすめします。

microSDカード内データはお客様の責任において管理してください。

■AVC Visual Patent Portfolio License について

- 本製品は、AVC Visual Patent Portfolio License (以下、AVC Video) に基づきライセンスされており、個人的かつ非営利目的においてのみ使用することが認められています。

- ・個人的かつ非営利的活動目的で記録されたAVC Video を再生する場合
- ・MPEG-LA, LLC よりライセンスを受けた提供者により提供されたAVC Videoを再生する場合
- ・プロモーション、営利目的などで使用する場合には、米国法人MPEG-LA,LLC にお問い合わせください。

備考

■本書の内容については、予告なしに変更することがあります。

最新版は下記QBiCオフィシャルウェブサイトでご確認いただけます。

<http://www.elmoqbic.com/>

■本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。

著作権法上、当社に無断では使用できません。

■万一、本機の使用及び故障、修理、その他の理由により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■本書での記載について以下のように記載しています。

- 「microSD」および「microSDHC」メモリカード→「microSD」カード
- 「バッテリーパック」→「バッテリー」

■著作権について

個人で楽しむ場合などのほかは、画像および動画フォーマットファイルを権利者に無断で複製することは著作権法や国際条約で固く禁じられています。また、これらのファイルを有償・無償にかかわらず権利者に無断で、ネット上で記載したり、第三者に配布したりすることも著作権法や国際条約で固く禁止されています。万一、本機が著作権法上の違法行為に使用された場合、当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気を付けください。

本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ご注意

- この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- カメラシステムを使用して撮影される人物やその他の映像で、個人を特定できるものは個人情報となります。その映像の開示、公開等の取り扱いは、システムを運用する方の責務となりますので、ご注意ください。
- 書籍、写真などは個人で楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で録画できませんので、ご注意ください。
- 補修用性能部品について
補修用性能部品とは製品の機能を維持するために必要な部品です。
この部品保有期間が修理可能の期間となります。